



かがわ 産業情報21

Kagawa Industry
Information 21

1

2023 vol.87

成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする

理事長新年の御挨拶

TOP NEWS

県内企業の販路開拓を支援しました！！

～食品商談会～

～第25回関西機械要素技術展～

～香川県 新技術・新工法展示商談会 in コマツ栗津工場～

～四国モノづくり合同商談会2022 in KAGAWA～

かがわ発！元気創出企業

「宮本スケール」

現場の意見に耳を傾けることで

時代のニーズの一步先を読み

この地で新たな計量器の開発を一。





新年の御挨拶

公益財団法人 かがわ産業支援財団
理事長 近藤 清志



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当財団の事業の推進に格別の御理解と、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、ウクライナ情勢の悪化や歴史的な円安などによる原材料価格の高騰により、製造業を中心に収益が圧迫されました。生産設備の導入コストが上昇し、企業の設備投資意欲の回復に水を差す懸念もございます。

ただ、その一方で、新型コロナウイルス感染症に関しては、感染拡大期においても個人消費が安定的に推移するとともに、中国のロックダウンによる部品供給制約の影響が和らぐなど、我が国経済は、ようやくコロナ禍を乗り越えつつあると考えられます。

当財団でも、昨年11月に、対面式としては3年ぶりとなる食品商談会を開催し、県内外から百貨店やスーパー、セレクトショップなど46社のバイヤーを招き、県内の食品メーカーなど72社に参加していただいたほか、全国から発注企業51社をサンメッセ香川に招き、県内企業55社を含む受注企業135社に参加していただいた「四国モノづくり合同商談会2022 in KAGAWA」を開催しました。本誌では、これらの開催状況を掲載していますので、御参考にしていただければ幸いに存じます。

今年は卯年（うさぎ年）です。「卯」の字は、左右に開かれた門の形を表すと言われ、閉じられていた門が開き、外に飛び出していくという意味があるとされています。当財団では、今年が県内事業者の皆様にとって、コロナ禍から一転、飛躍の年となるよう、香川県をはじめ大学・高専、試験研究機関、金融機関、支援機関の皆様と連携協力しながら、創業や新分野への進出、商品開発、事業化、販路開拓、経営基盤強化など多様なニーズに対応した総合的な支援に努めてまいります。

まず、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」では、研究開発、新分野進出等の取組みに対して助成してまいります。現在、令和5年度の実施企業を募集していますので、積極的にご活用いただきたいと思います。

創業支援では、「かがわ創業塾」を開講し、専門家による実践的な講義を実施するとともに、創業に関する様々な相談対応を行います。また、2月7日には、起業家を発掘し、革新的なベンチャー企業の創出と育成を目的とした「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2022」の公開プレゼンテーションによる最終審査を行うこととしています。

販路開拓では、去年は前述の商談会のほか、コマツ栗津工場（石川県小松市）での展示商談会を行いました。今年も県内ものづくり企業の優れた技術や製品を紹介して新たな販路開拓を目指す機会を設けたいと考えています。食品分野では、2月に幕張メッセで開催される国内最大級の食品関連見本市「スーパーマーケット・トレードショー2023」に香川県ブースを出展し、本県の食品産業をPRすることとしています。

また、専門家による経営相談窓口や、当財団内に開設している「よろず支援拠点」、「プロフェッショナル人材戦略拠点」、「知財総合支援窓口」では、企業が抱える様々な悩みや課題の解決に向けた相談対応を行い、経営改善や競争力強化、人材確保、知財の活用などをサポートしてまいります。

さらには、研究施設「RISTかがわ」において、企業との共同研究や受託研究、機能性表示食品の開発支援を行うとともに、当財団が管理運営する県有施設「ネクスト香川」、「FROM香川」では、新規産業創出や産学官共同研究を引き続き支援してまいりますので、これらの施設を有効にご活用いただきたいと思います。

本年も引き続き、本県産業の振興発展のため、職員一丸となって各種事業に取り組んでまいりますので、皆様方のお一層の御理解と御協力をお願い申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

県内企業の販路開拓を支援しました！！

01

～食品商談会～

当財団では、香川の基幹産業の一つである食品産業の販路開拓支援を目的に、香川県、(株)百十四銀行、(株)香川銀行、高松信用金庫、観音寺信用金庫(計6機関が主催)、(株)日本政策金融公庫高松支店、(株)商工組合中央金庫高松支店、農林中央金庫高松支店、香川県信用農業協同組合連合会、高松商工会議所、高松市中央商工会、三豊市商工会、香川県中小企業団体中央会、香川県信用保証協会、香川県よろず支援拠点(計10機関が共催)の15機関と連携して、県内外のバイヤー等を招聘して、令和元年度以来3年ぶりに対面方式の食品商談会を開催しました。



【個別商談の様子】



【開会あいさつ 池田香川県知事】

開催概要

開催日 令和4年11月1日(火) 10:00～17:00

開催場所 JRホテルクレメント高松 飛天の間

参加セラー 72社(県内食品加工業者等)

招聘バイヤー 46社

開会に当たり、主催者及び共催者を代表して池田知事に激励のあいさつをいただいた後、バイヤーとセラーが精力的に商談に臨みました。バイヤーゾーンにおいては、バイヤーとセラーが時間割制(20分間)の『個別商談』を、セラーゾーンにおいては、セラー各社が商品をブースに展示しバイヤーが巡回する『見本市』を同時に開催する形式により、効果的な商談を実施しました。

この日の成果としては、商談件数が延べ415件、商談成立が42件、商談成約見込みが77件、商談継続が253件となりました。

CONTENTS

2023年1月 vol.87 発行(年4回発行)

かがわ産業情報21 1

【理事長新年の御挨拶】	1
【トップニュース】県内企業の販路開拓を支援しました！！	
～食品商談会～	2
～第25回関西機械要素技術展～	3
～香川県新技術・新工法展示商談会inコマツ粟津工場～	4
～四国モノづくり合同商談会2022inKAGAWA～	4
【財団からのお知らせ】	
令和4年度版	
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」成果事例集を発刊しました！	5
「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和5年度助成事業を募集しています	6
「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2022」	
～最終選考に進んだビジネスモデルの公開プレゼンテーション～	7
【支援事例紹介】	
機能性表示食品届出 支援事例の紹介	7
よろず支援拠点 支援事例の紹介	8

香川県知財総合支援窓口事業 支援事例の紹介	8
【財団の活動】	
「かがわ冷凍食品研究フォーラム 第10回シンポジウム」を開催しました	9
令和4年度第2回公募 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)に採択！	
～当財団が事業管理機関となり、高木鋼業株式会社と香川県産業技術センターが研究開発～	9
「令和4年度かがわ産業振興クラブセミナー」を開催しました	10
「かがわ糖質バイオフォーラム第14回シンポジウム」を開催しました	11
かがわ健康関連製品開発フォーラム・微細構造デバイス研究開発フォーラム	
令和4年度合同セミナーを開催しました	11
「かがわ魅力発見事業 新商品開発チーム」を紹介！	11
「知財マッチング in かがわ2022 web面談」を開催しました	12
「かがわ知財経営塾」を開催しました	12
【かがわ発！元気創出企業】	
現場の意見に耳を傾けることで	
時代のニーズの一步先を読み この地で新たな計量器の開発を一。	
宮本スケール	13・14
第78回 香川の発明くふう展 表彰式及び受賞作品展示会を開催しました	



【見本市コーナーでの商談の様子】



【香川県よろず支援拠点】



【知的財産支援部】

また、会場には当財団の「香川県よろず支援拠点」や「知的財産支援部」の専門家による相談コーナーを設置し、商品開発やマーケティングのほか、商標などの知的財産に関する諸課題の相談対応を実施しました。

招聘バイヤー46社

- 【百貨店】(株)井筒屋、(株)近鉄百貨店、(株)京阪百貨店、(株)高松三越、(株)高島屋
- 【スーパー等】(株)アオイスサポート、(株)イズミ、(株)エースワン、(株)大寿OONOYA、(株)サニーマート、(株)信濃屋食品、(株)スズキヤ、マックスバリュ西日本(株)、(株)サンブラザ、(株)ニチエー、(株)ミワ商店
- 【通信販売】(株)ゴーフィールド、(株)島と暮らす、(株)JALUX、(株)47CLUB
- 【食品卸】(有)アイ.ビー.エス、旭食品(株)、伊藤忠食品(株)、(株)クアパバ、(有)分西日本(株)、(株)五味商店、(株)G7ジャパンフードサービス、タムラ、(株)TOMOTO、中村角(株)、(株)ベイ・ブランチ、三井食品(株)、三菱食品(株)
- 【小売業等】穴吹エンタープライズ(株)、ANAFESTA(株)、(株)生駒屋(四国ショップ88)、かがわ物産館栗林庵、ぎしな屋、GINZAFARM(株)(徳島・香川トモニ市場)、(株)サカガミ(せとうち旬彩館)、四国航空(株)、(株)日本百貨店、西日本高速道路ロジスティックス(株)、道の駅源平の里むれ
- 【青果等】(有)アグリ元気岡山、(株)和郷

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

02

～第25回 関西機械要素技術展～

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術産業の振興を図り、成長分野等(エネルギー・環境関連、ロボット関連、自動車関連など)への進出を支援する取組みとして、西日本最大級の専門技術展「第25回 関西機械要素技術展」(インテックス大阪)に、香川県ブースを出展しました。

開催概要

- 会 期** 令和4年10月5日(水)～10月7日(金)
- 会 場** インテックス大阪(大阪市)
- 来場者数** 約27千人(同時開催展来場者を含む)
- 主 催** RX Japan(株)
- 展示会概要** 軸受、ベアリング、ねじなど機械要素や金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた西日本最大級の専門技術展。

出展者：

出展企業	所在地	出展物等
(株)エスシーエー	丸亀市	●協働ロボット検査装置 等
三有研器(株)	高松市	●スリッター上下刃 ●不織布切断用カッター刃 ●フィルム包装機用刃 等
高木綱業(株)	高松市	●高機能繊維ロープ ●高強度型絶縁ロープ ●変形コーティングロープ ●複合化超高分子量ポリエチレンロープ ●静電気除去ロープ 等
高松帝酸(株)	高松市	●フッ素ガス表面処理品 ●フッ素ガス表面処理技術 ●繊維強化プラスチック材料接着前処理技術 等
バリオスター(株)	高松市	●蓄電システム ●メタノール燃料電池システム 等
(株)プロテック	高松市	●高精度機械加工部品(航空機関連、半導体製造装置関連) 等
明興産業(株)	丸亀市	●各種プラスチックの機械加工品 ●樹脂形成品 等
(株)レクザム	小豆島町	●超精密絞り加工 ●微細微小プレス加工 等

出展者の声：●香川から近いこともあり、商談については今後のフォローがしやすい。
●図面をお持ちいただいた会社もあり、成約につながるようアフターフォローをしていく。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

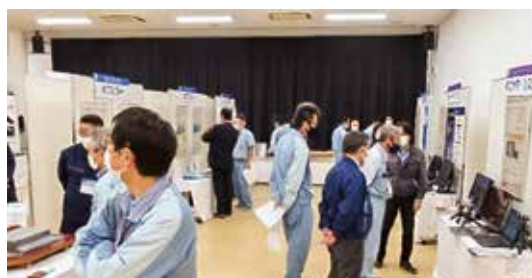
～香川県 新技術・新工法展示商談会 in コマツ栗津工場～

令和4年11月8日(火)・9日(水)、コマツ(株式会社小松製作所)栗津工場の御協力をいただき、県内企業15社及び香川高等専門学校詫間キャンパスが、建設機械・鉱山機械のトップメーカーであるコマツの栗津工場(石川県小松市)において、自社の新技術・新工法を展示する商談会を開催しました。

この展示商談会は、コマツ及び関連会社の調達等の担当者らを主対象として、県内企業の優れた技術や製品を展示し、直接提案することにより新たな販路拡大を目指すものです。出展企業の分野は、素材・材料、システム・ソフトウェア、設備装置等と多岐にわたりました。

会期中は、コマツ及び関連企業を含めた245名が来場され、各ブースで出展企業との活発な商談が行われました。出展企業にとっては、コマツの多くの関係者に自社の技術等を直接提案するとともに、大手企業のニーズを把握できる絶好の機会となりました。

当財団では、今回の出展企業に対しフォローアップを行い、具体的な取引につながるようサポートするなど、県内企業の販路拡大を積極的に支援します。



～四国モノづくり合同商談会2022 in KAGAWA～

令和4年11月18日(金)、サンメッセ香川にて「四国モノづくり合同商談会2022 in KAGAWA」を開催しました。

開催概要

- 開催日時** 令和4年11月18日(金) 11:00～17:00
- 開催場所** サンメッセ香川 大展示場A, B面(香川県高松市林町2217-1)
- 主催** (公財) とくしま産業振興機構、(公財) かがわ産業支援財団、(公財) えひめ産業振興財団、(公財) 高知県産業振興センター
- 対象業種** 機械・金属加工、樹脂加工等
- 面談方式** 事前予約面談
- 参加企業数** 発注企業 51社(東北から九州まで)うち香川県6社
受注企業 香川県55社(全135社)



- | | | | | |
|------------------|-------|-------|---------|-------|
| 面談結果(速報値) | ①商談成立 | : 1件 | ②試作依頼 | : 4件 |
| 香川県受注企業 | ③見積依頼 | : 32件 | ④図面検討依頼 | : 20件 |
| | ⑤後日訪問 | : 23件 | ⑥情報交換のみ | : 74件 |
| | ⑦その他 | : 14件 | 合計 | 168件 |



お問い合わせ先

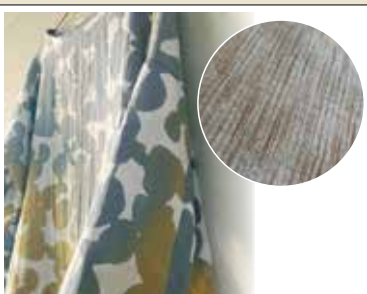
公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

令和4年度版「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」成果事例集を発刊しました！

平成29年度に造成した総額118.5億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用し、県内中小企業者等の研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成等の取組みを総合的に支援しています。

この度、新かがわ中小企業応援ファンド等事業を活用した数多くの事例の中から、優れた成果を挙げた、又は期待される事例を支援メニューごとに広く紹介することを目的に成果事例集を作成いたしました。今後、新たな分野への進出や新商品の開発等を御検討の中小企業者のほか、関係機関の皆様にご覧いただき、今後の事業展開等の御参考となれば幸いです。

【掲載事業】

①新分野等チャレンジ支援事業		②新分野等チャレンジ支援事業	
	事業テーマ 健康的で安全性の高い豆乳ジェラートの開発		事業テーマ 香川の特産物・県産品を使用した燻製醤油の開発
	事業者 有限会社久保食品		事業者 有限会社宮地醤油醸造場
③新分野等チャレンジ支援事業		④競争力強化研究開発支援事業	
	事業テーマ 茹槽下面ヒーター式茹麺機 ゆでめんき の開発		事業テーマ 燃え殻・ばいじんの再資源化事業
	事業者 光和電機株式会社		事業者 株式会社アムロン
⑤競争力強化研究開発支援事業		⑥競争力強化研究開発支援事業	
	事業テーマ 履きやすく・温かく・サステナブルな弾性ストッキングの開発		事業テーマ 日本初、風力自立棒の開発
	事業者 香川シームレス株式会社		事業者 株式会社空撮技研
⑦ものづくり生産性向上・スキルアップ支援事業		⑧創業ベンチャー支援事業	
	事業テーマ 人稼働率向上による製造原価低減活動の実施		事業テーマ 保多織の新展開－保多織の新しい可能性を探る－
	事業者 安田食品工業株式会社		事業者 ツムギ
⑨農商工連携支援事業		⑩withコロナ対応支援事業〔商品・技術開発枠〕	
	事業テーマ 讃岐正藍染のブランド化と販路拡大		事業テーマ 新生活様式に対応した家飲み用・内食用新商品の開発
	事業者 染匠 吉野屋		事業者 宝食品株式会社

⑪withコロナ対応支援事業[販路開拓枠]		⑫withコロナ対応支援事業[販路開拓枠]	
	事業テーマ コロナ禍におけるSDGsを意識したD2Cネット販売拡大事業		事業テーマ 緑十字展2021オンライン出展
	事業者 株式会社数水産		事業者 株式会社ジョーソンドキュメンツ
⑬地域資源ブランド化・販路拡大支援事業			
	事業テーマ 伊吹産いりこラーメン商品の開発		
事業者 株式会社久保田麺業			

新分野等チャレンジ支援事業

令和元年度(後期)採択

有限会社久保食品 (綾歌郡宇多津町)

事業テーマ 健康的で安全性の高い豆乳ジェラートの開発

事業のきっかけと背景 「くぼさんのとうふ」の名前で知られる同社の製品は、化学合成添加物や輸入食材に頼らずに製造していることで支持されている。製造コストも製造時間も余計に必要なが、何よりも「食べる人の健康を第一に考える」という代表取締役の久保隆則氏の経営哲学により、安心・安全にこだわった製品を提供している。

●掲載記事はこちらからご覧いただけます。

<https://www.kagawa-isf.jp/information/#ファンド助成金活用事業成果事例>

※冊子をご希望の方は、ファンド事業推進課(TEL:087-868-9903)までご連絡ください。



「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」の令和5年度助成事業を募集しています

県内中小企業者等が新たに行う研究開発や販路開拓の取組みを支援します。
皆様の積極的な御応募をお待ちしております。

募集メニュー

支援メニュー	対象事業	助成率 助成上限額	採択予定 件数
①新分野等チャレンジ支援事業	県内の中小企業者が取り組む新分野進出のための商品・技術の開発、試作品作成、実証試験、可能性評価等	2/3以内 100万円	7件程度
②競争力強化研究開発支援事業	県内の中小企業者が取り組む付加価値の高い新製品の製品化や新技術の確立のための研究開発	2/3以内 300万円	6件程度
③農商工連携支援事業	県内の中小企業者が農林漁業者と連携し、互いの経営資源や先端技術等を活用して取り組む新商品・新サービスの開発等	2/3以内 150万円	3件程度

応募方法

当財団ホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/newfund/>)

又は2次元コードから申請登録(事前相談)を行ってください。

(インターネット環境が整わない等で申請登録ができない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。)

助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査委員会での審査を経て決定します。

申請者は審査委員会で事業説明(プレゼンテーション)を行っていただきます。

募集期間

令和4年12月9日(金)～令和5年2月15日(水)17:00(必着)



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2022」 ～最終選考に進んだビジネスモデルの公開プレゼンテーション～

当財団では、香川県の将来を担う革新的ベンチャー企業の創出・育成を図るため、平成23年度から、新しい独創的なビジネスモデルを募集しコンペを行い、今後の成長が期待できる起業家を表彰してきました。12回目となる今年度は、昨年9月から公募を開始したところ、22件の応募がありました。2月7日(火)に開催予定の最終選考にて、書類選考を通過した応募者がビジネスモデルの公開プレゼンテーションを行い、審査委員による審査により受賞者が決定・表彰されることとなります。是非、皆様のご来場をお待ちしております。

日 時	令和5年2月7日(火) 13:00～17:00	場 所	サンメッセホール 大会議室(サンメッセ香川 2階)
定員(予定)	100名(先着順、事前申込制)	参 加 費	無料
プログラム	13:00 開会 13:10 「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2022」プレゼンテーション 16:40頃 「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2022」審査結果発表・表彰式		

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、マスクの着用や手指消毒・検温等にご協力をお願いします。なお、感染拡大状況に応じ、開催形態やスケジュール等の変更、開催規模の縮小等を行う場合があります。

(参考:受賞の特典)

- 最大200万円の助成金(最優秀賞のみ)※別途 新かがわ中小企業応援ファンド等事業審査委員会の審査があります。
- 当財団のインキュベータールームやネクスト香川のインキュベーター工房等に入居する場合、賃借料を最長2年間無料提供(最優秀賞のみ)※入居の可否は、別途入居審査により決定します。
- 県内金融機関による融資金利優遇などの支援(最優秀賞、優秀賞)※各金融機関が定める審査等の手続きが必要です。



最優秀賞受賞者へ表彰盾を贈呈



昨年度の受賞者(最優秀賞 1件、優秀賞 2件)



公開プレゼンテーション

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

支援事例紹介

機能性表示食品届出 支援事例の紹介

有限会社高島産業

支援概要・成果

有限会社高島産業(高松市)は、ルテインの機能性(光による刺激から目を保護するとされる網膜[黄斑部]色素を増加させる)に着目して開発した「あらん(卵)」を、機能性表示食品として消費者庁に届出しました。

この度、下記の内容で届出が完了し、機能性表示食品として生産販売されています。

これまでに、機能性表示食品としては全国で6,000件以上の商品の届出が完了していますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて33件となりました。うち18件は当財団が支援しました。



商 品 名	あらん(卵)	販 売 開 始	令和4年11月1日	1日摂取目安量	本品を3個(可食部163g)
届 出 日	令和4年4月21日	事 業 者 名	有限会社高島産業		
機 能 性 内 容	光による刺激から目を保護するとされる網膜(黄斑部)色素を増加させる	機能性関与成分	ルテイン		

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

よろず支援拠点 支援事例の紹介

香川県よろず支援拠点での支援事例について

事業年度:令和4年度

株式会社ヒココ (高松市上天神町818-6 TEL:087-867-8444) 代表取締役 高橋 弘子 様

[飲食事業部(店舗)] DEL CAFE(デルカフェ) (高松市三条町106-6 TEL:087-814-5451) 店長 高橋 輝 様

[illegible]

テーマ

Caféスタイルからハンバーグ専門店への業態変更により、コロナ禍でも売上160%向上！

相談の動機・内容

- Cafe事業を開始して、モーニングやランチメニューの改変等様々なメニューや取組みを行ったが、思うように売上が伸びていない状況であった。
- 今後の事業の方向性を探るべく、金融機関を通じて当拠点に相談がなされた。



支援のポイント

- ① 売上計画について、事業者の対応可能な規模や生産体制を把握した「適正規模」や「手の届く範囲」で提案することを心掛けた。
- ② 初めての飲食店舗経営事業者であったため、店舗やメニューの「こだわりポイント」を傾聴し、課題整理を行った上で、事業者目線での提案を行うこととした。
- ③ 「点」での提案だけでなく、「点を繋げる線」を意識した提案を実施した。

事業者コメント

店舗規模や体制を把握した上での事業展開の提案を受けたことから、現実的な(実現可能な)事業改善を行うことができた。今後も自社の強みを活かした事業展開を行っていきたい。

成果・現況

- 専門店化、ブランド化を行うことにより、店舗外での売上獲得が継続的に得られることとなった。
- 認知度が向上し、TVや雑誌等でのメディア露出も増加した。
- 「ハンバーグ専門店」として、常温保存可能な缶詰商品等を開発し、2022年かがわ県産品コンクールの食品部門で優秀賞を受賞した。
- ギフト対応商品等も計画している段階であり、飲食事業だけでなく食品製造事業にも進出している。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 香川県よろず支援拠点

高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710

香川県知財総合支援窓口事業 支援事例の紹介

[illegible]

相談者

セイナム株式会社（観音寺市）

相談のきっかけ

セイナム株式会社は、香川県で2006年に誕生した「元祖かつしゃ焼」の会社です。「かつしゃ焼」とは、見た目はたこ焼きで中の具が「かしわ」と呼ばれる鶏肉の親鳥を入れたものです。香川発祥のB級グルメとして「かつしゃ焼」は、全国のB級グルメのコンテストなどで高い評価を受け、数々の賞を獲得しています。

この度発案の「ドリンクかき氷」は、氷とドリンクを容器に入れ、上に空洞を作り、その上にかき氷を盛るというこれまでにない画期的な構造で、かき氷、かき氷とドリンクが溶け合ったシャーベット、冷たいドリンクの三段階で楽しむことが大好評です。同社はイベントに出店する機会が多く、売れる商品は、同業者によってすぐに模倣されます。新商品が模倣されないよう、意匠登録を戦略的に行うよう提案しました。



支援概要

商品は一度公開されてしまうと、便乗商法が出てきます。特にこのようなユニークなもののほどマネされることがあるため、初めに考え形にした者が、報われ且つ安心して販売を続けていけるように、排他的な独占権、中でも意匠権の取得を提案しました。令和4年5月には意匠権を取得し、さらに、炭酸ドリンクの使用が多いことに注目して、「しゅわっと炭酸かき氷」の商標権取得を支援しました。

支援成果

意匠権を取得したことで模倣品の排除につながっています。また、現在では、かき氷意匠に関し、本意匠に基づいた関連意匠と、形状の異なる意匠を出願し、権利の拡充を行っています。意匠法で保護されたことで、本発案のかき氷は意匠デザインとして知られるようになり、さらに知名度がアップするなど、ブランド力の向上につながっています。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課

高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365

「かがわ冷凍食品研究フォーラム 第10回シンポジウム」を開催しました

平成25年度に設置した「かがわ冷凍食品研究フォーラム」(会長:香川短期大学 名誉教授 竹安 宏匡 氏) 第10回シンポジウムを令和4年11月17日(木)に三豊市文化会館マリノウェーブで開催しました。(参加者:47名)

参加者からは、講演では「今後の商品開発ポイントである栄養免疫を目的としたアドバイスをいただき参考となった」、情報提供では「省エネの診断と削減を進めたい。いろいろな助成とか削減方法がわかったので、良かった」、事例発表では「地域の社会課題解決への貢献が素晴らしい」等の意見がありました。



【講演】

演題 「ポストコロナの企業価値を高める競争優位戦略
—高次機能及び栄養科学の視点から—」

講師 香川短期大学 名誉教授 竹安 宏匡 氏



【情報提供】

演題 「省エネの進め方と省エネ診断事例」

講師 一般財団法人省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 松木 直哉 氏



【事例発表】

演題 「ローカルフードバリューチェーンをふたたび」

講師 株式会社キョーワ 代表取締役 加地 正人 氏



お問い合わせ先

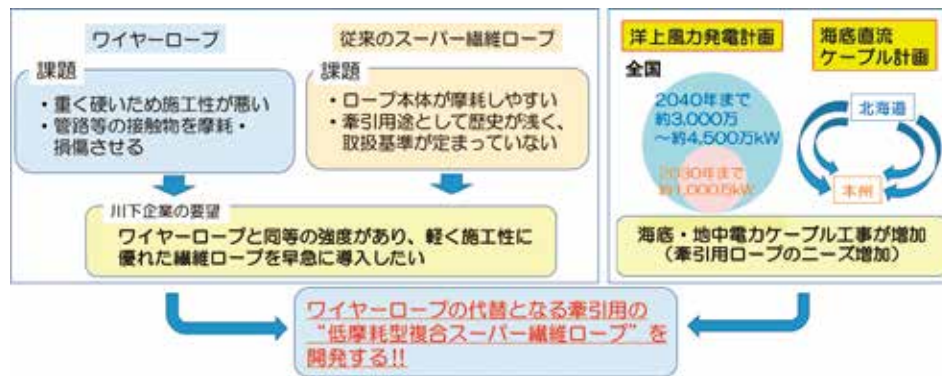
公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

令和4年度第2回公募 成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業) に採択！

～当財団が事業管理機関となり、高木綱業株式会社と香川県産業技術センターが研究開発～

令和4年度第2回公募が6月27日～8月22日まで実施され、当財団から提案した1件が採択されました。全国では、98件(通常枠)の申請があった中から29件(四国からは1件)が採択されました。

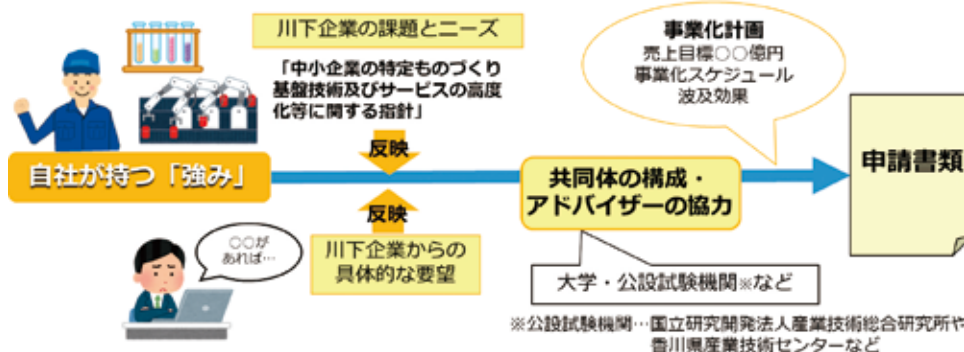
【採択された事業の概要】研究テーマ:海底・地中電力ケーブル牽引用の低摩耗型複合スーパー繊維ロープの開発



●成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業) とは

中小企業等が持つ強みを活かし、研究機関と共同で実施する市場ニーズの高い研究開発を最大3年間支援する事業です(経済産業省管轄)。

本事業の申請には、研究開発から事業化に向けた計画に沿って申請書類を作成するため、充分な準備が必要です。当財団では常時相談を受け付けています。なお、補助金額などの詳細については、中小企業庁のホームページをご確認ください。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 メール: scn@kagawa-isf.jp

「令和4年度かがわ産業振興クラブセミナー」を開催しました

かがわ産業振興クラブでは、令和4年11月15日(火)に、高松国際ホテル瀬戸の間において、令和4年度かがわ産業振興クラブセミナーを開催しました。

第1部では、株式会社NTTフィールドテクノ サイバーセキュリティオペレーションセンタ(CSOC) センタ長の萬本 正信 氏をお招きし、「ウクライナ侵攻におけるサイバー攻撃と日本企業に求められるセキュリティ対策」と題した講演をいただきました。

ウクライナ侵攻でのロシアによるサイバー攻撃としてEmotet、ランサムウェア、Killnet等の最新の情報と、これらによる攻撃や企業内システムの変化等によりサイバーセキュリティが大きな転換点にあり、新たなセキュリティ対策として、ゼロトラストセキュリティ(すべてを信用せず、個別に確認する)、オフenseセキュリティ(攻撃者の目線でセキュリティを考える)、アタックサーフェスマネジメント(インターネットとの接点を管理する)についてお話をいただきました。

続いて、ランサムウェアについて、Emotetは今年3月に活動がピークとなり、その後落ち着いていたが、11月になって再活動をしていること、また大阪急性期総合医療センター等々国内でランサムウェアの被害は広がっており、その対策として、基本はバックアップを取ることで、具体的には3-2-1ルールとして、「3つのデータコピー」を「2つのメディアに保存」し、「1つはオフサイト(別の場所)の保管すること」とお話しいただきました。最後に、サイバーセキュリティの具体的な対策として、OSINT(open source intelligence)の手法によるインターネットからの情報収集、専門家の協力を得たダークWeb調査、IDやPWだけでないハードウェアとセットにした多要素認証の必要性、10文字以上のPWの有効性等のお話をいただきました。

第2部の会員企業事例報告では、株式会社カワニシ 代表取締役 川西 弘城 氏から「設立60周年に向けて」と題して、今年7月に「組立・試験運転専用」工場を稼働させたこと、企業風土改革のため、組織改革プロジェクトの推進による社員意識とモチベーションの改善を図り、「社員の幸福」をベースとして「Well-being」(健康にやりがいを持って仕事ができる場所)を経営目的にしていこうとお話をいただきました。

また、株式会社コヤマ・システム 代表取締役社長 佐野 弘実 氏から「中小企業のIT活用支援」と題して、中小企業のデジタル化を阻む3つの要因(価格がわからない、IT人材がいない、相談先がわからない)を示されるとともに、その解決法について、具体的な事例を紹介しながら、まずは小さく始めることや社内複数存在するソフトウェアをつなげるなど、現場に合った現実的なデジタル化の取組み手法についてのお話をいただきました。

このセミナーは、Zoomウェビナーにより同時配信も行い、総勢85名の方に聴講いただきました。



主 催 (公財)かがわ産業支援財団

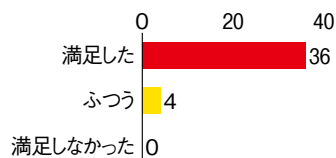
共 催 香川県よろず支援拠点

参加者の声

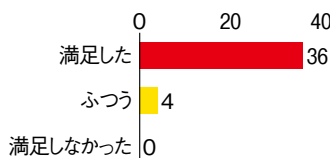
- 最新のサイバー事例、中小企業の取組みが良くわかりました。
- コロナ禍の中では今回のようなハイブリッド形式の講演会が良いです。感染対策もとられており安心して拝聴しました。
- セキュリティ対策の講演は聞いたことが無かったので学ぶことが大変多く、今後活用していきたいです。
- リスクの洗い出しを行った後、何を受容するかという観点を持つのはテスト手法にも通じていて興味深かったです。
- ランサムウェアの統計のお話を興味深く聞かせて頂きました。

アンケート結果

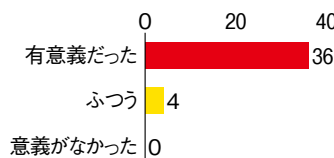
本日のセミナーにどれくらい満足しましたか。(回答40件)



講演をお聞きになり、どのくらい有意義と感じましたか。(回答40件)



企業事例報告は、どのくらい有意義と感じましたか。(回答40件)



かがわ産業振興クラブでは、会員を募集しています。入会希望の方は、下記までご連絡ください。

実施事業

- 当財団の機関誌、メールマガジン等の送付
- セミナーの開催
- 県外企業見学会の開催
- 知事との意見交換会の開催

年会費

5,000円(入会金不要)

詳細は、当財団ホームページ
<https://www.kagawa-isf.jp/club/>をご覧ください。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部取引支援課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

「かがわ糖質バイオフィォーラム第14回シンポジウム」を開催しました

令和4年11月4日(金)、かがわ国際会議場において「かがわ糖質バイオフィォーラム第14回シンポジウム」を開催しました。(参加者:77名)
参加者からは、「希少糖について様々な視点での話を聞くことができ勉強になった」「有意義な意見交換ができた」等の声が寄せられました。

【第1部 基調講演】

- 演 題** メタボリックシンドロームの正しい理解と発症機序における
アディポネクチンの意義
- 講 師** 一般社団法人日本肥満症予防協会 理事長
一般財団法人住友病院 名誉院長・最高顧問 松澤 佑次 氏



【第2部 ポスター発表】

希少糖をはじめとする糖質バイオフィォーラムに関する研究成果や商品開発事例の発表・意見交換

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 健康産業プロジェクトチーム
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

かがわ健康関連製品開発フォーラム・微細構造デバイス研究開発フォーラム 令和4年度合同セミナーを開催しました

令和4年12月9日(金)、一般会場の香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室とオンライン会場のZoomウェビナー配信にて、かがわ健康関連製品開発フォーラムと微細構造デバイス研究開発フォーラムが合同セミナーを開催し、産学官の人的ネットワークの構築を図りました。(参加者:66名)

今回は「健康・医療分野」をテーマに、講師の方々にご講演いただき、参加者からは「理解しやすい講義内容だった」、「医療福祉現場からのニーズを紹介されたのは、現場目線で大変良かった」等の声がありました。

【第1部 微細構造デバイス研究開発フォーラムセミナー】

- 演 題** MEMS技術の医用デバイスシステム応用
- 講 師** 広島市立大学情報科学研究科
医用情報科学専攻 教授 式田 光宏 氏
- 演 題** マルチデバイス生体計測システム
HuME (Human Metrics Explorer) TM の開発と応用展開
- 講 師** 株式会社島津製作所
基盤技術研究所 脳五感ユニット長 務中 達也 氏



【第2部 かがわ健康関連製品開発フォーラムセミナー】

- 演 題** with CORONA for DEVICE
～コロナ禍における医療福祉現場ニーズから製品開発に向けて～
- 講 師** NPO法人医工連携推進機構 客員研究員 吉川 典子 氏
かがわ健康関連製品開発フォーラム会長 山本 知生



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 健康産業プロジェクトチーム
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

「かがわ魅力発見事業 新商品開発チーム」を紹介します

令和4年9月21日、27日及び28日、当財団内にて「かがわ魅力発見事業マッチング会」を開催しました。
クリエイター5者に対し、県内事業者8社とのマッチングが成立しました。
今後、新商品開発等の企画の立案を行っていき、令和6年1月までに新商品等の開発を行っていきます。

	クリエイター	県内事業者
1	吉岡 奈緒美	田渕石材株式会社
2	WARPDESIGN 松原 篤	株式会社パック三樹
3	Foodoo's 松田 まり子	株式会社太洋木材市場
4	FURIKAKE 得丸 成人	四国繊維販売株式会社
		株式会社ダイコープロダクト
		株式会社川口屋漆器店
		平田商店
5	株式会社H. Y. D. 林 雄三	ウインセス株式会社



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

「知財マッチング in かがわ2022 web面談」を開催しました

大企業等が保有する開放特許等の活用を通じて、県内企業の新たな事業展開や新製品開発を促進するため、今年で5回目の「知財マッチング in かがわ2022 web面談」を開催しました。

web面談化によって、シーズ提供元を大手等21社と充実させ、大手は従来からのweb参加以外に久しぶりに対面もあり、県内企業は自社もしくは、当財団から個別面談を頭脳化センター他で開催しました。一部の大手はシーズ説明も行い、面談以外に情報提供も兼ねたマッチングの場を提供しました。

11月16日を皮切りに、以降12月末までの間で個別web面談を行い、県内企業が参加します。

【開催概要】

日時 令和4年11月16日(水) 10:40～17:30及び同日、以降12月末まで適時

場所 香川産業頭脳化センタービル2F一般研修室

【開催概要】

区分	参加大企業等	参加県内企業	面談件数
個別面談 (11/16～12/15)	5社	8社	13件
シーズ説明 (パナソニックのみ)	1社	16社	—

【面談会場】



【シーズ説明会場】



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

「かがわ知財経営塾」を開催しました

知的財産の活用を通じて、地域産業の活性化を図るため、香川県内の中小企業等の経営者などを対象に、「かがわ知財経営塾」を対面で3回開催しました。

本塾は、日本弁理士会と香川県が締結した「知的財産の活用による地域の活性化と産業の振興のための協力に関する協定」に基づき、日本弁理士会の協力を得て開催しました。ワークショップ形式でグループディスカッションを中心に行い、経営・知的財産の課題について話し合いを通じて理解も深めて学ぶ場を提供しました。受講者のアンケートでは、意匠、商標の奥深さがわかった、IPランドスケープは意識していなかったの、今後取り入れたい、などの感想が寄せられました。

区分	開催日	実施形態	テーマ	講師	受講者
第1回	令和4年10月5日(水)	対面	製造業以外にも販売やサービス業で重要な、意匠、商標を中心に	洲崎国際特許事務所 弁理士 洲崎 竜弥	19名
第2回	令和4年10月12日(水)	対面	ビジネスシーンで知っておくべき、営業秘密、共同開発時の契約問題	松島国際特許事務所 弁理士 松島 理	16名
第3回	令和4年10月20日(木)	対面	今注目のIPランドスケープとは何か、中小企業でも役立つ活用価値について	椿特許事務所 弁理士 椿 豊	13名

【会場 対面開催風景】



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

かがわ発! 元気創出企業



香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聴きする「かがわ発! 元気創出企業」。

今回は、精密な計量器を手掛ける高松市の「宮本スケール」を訪ねました。

幅広い製造業分野で国内トップクラスの企業と、多数の協力企業が存在する香川県。そのため本県には、技術力の高いものづくり基盤技術が蓄積されている。中でも計量器業界は、ものづくり技術を支える重要な基盤となっている。今回は、アナログからデジタルへと日進月歩の進化を続ける計量器業界で、新たな製品を開発し続ける「宮本スケール」を訪ね、技術担当の大岡氏にお話を伺った。



現場の意見に耳を傾けることで 時代のニーズの一步先を読み この地で新たな

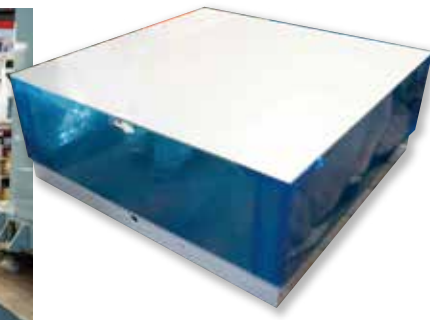
大手メーカーにはできない 製品をつくるという発想

2009年、アナログからデジタルへの移り変わりを機に、創立した「宮本スケール」。以来、東京を中心に全国的に計量器販売を行う新光電子株式会社との協力で、計量器の開発・製造を担ってきた。取引は必ず量ることから始まる。細かな数量まできっちり量りたいというお客様のニーズに備えてきた。昨年には、さまざまな業界における計量器の変更仕様ニーズの高まりに的確に対応するため、国内初の大ひょう量で精度等級2級の認定を受けた高精度な特定計量器を開発した。秤台への衝撃を緩和する新伝達機構の開発等を通じて、計量器の一目盛を既存品の10分の1に小さくしたこの計量器により、これまで以上に高精度の計量を可能にし、その高度な技術が評価され、第29回(2021年度)芦原科学賞の芦原科学奨励賞を受賞した。今後、高精度計量器のニーズが高まるにつれ、地域や産業の発展に大きく寄与することが期待できる計量器を開発したのが、宮本スケール技術担当の大岡禎昭さんだ。「大手メーカーにできないようなニッチな商品をつくること、他ではまだやっていないものをつくることこそが小さなメーカーの生き残り術」だと大岡さんはいふ。新たな時代に対応しながら開発するこの姿勢で、まだ他にはない高精度計量器が誕生した。

ニーズの先を読んで 開発し続ける姿勢

精度が高い製品をつくると一言で言っても、市場に出すまでには実はかなり時間がかかる。市場に出す際には、その製品が本当に正しい数値を量れることを証明する検査が必要になるが、新しいものを生み出すということは、その検査をするための機械すら存在していない状況。そのため新製品の申請後、実際に市場に出るまでには、2〜3年ほどかかるのは通常だという。「いずれ必要となる製品を早めに開発して、市場に出す時期を待つのが私たちの開発の仕方ですね」。そのため、販売を新光電子株式会社に任せることで宮本スケールは製造・開発に専念しているという。

精密な計量器をつくるメーカーとしてさまざまな業界との取引実績を持つ宮本スケール。だが新たな顧客を開拓していく姿勢は欠かせないという。計量器の耐用年数は15年〜20年と長い。その間は納品した客先からの仕事は修理や点検がほとんど。計量器を導入する新規取引先の確保が常に大切だ。新たな取引先開拓のためにも開発は欠かせない。「既存のものをつくるだけでは取引にはつながらない。だから設置や点検などで現場に出向いた際には、現場の意見を実際に聞いて新しい開発に取り入れるのも大切な仕事なんですよ」。



工場ではベテランスタッフによる製造・検査が行われていた。培ってきた技術を次の世代に受け継いでいくのも今後の課題。

宮本スケールで製造している秤類

な計量器の開発を一。

安定した供給に必要な 人材確保と協力体制を

ものづくり企業の多くが直面するのと同様、宮本スケールでも人材の確保が今後の課題だという。タッグを組む新光電子株式会社は、現在、半年以上先の納品予定で受注している状況だとか。「今後、生産能力をアップするためにも人材を確保しつつ、外注先との連携を強化し、生産能力を高めるために体制の強化や機械化は常に課題ですね」とはいえ、全ての工程を内製化するのではなく、外注先と協力していけるような人間関係をつくっていくことも製造業としては大切だといい、「ものづくりには、それぞれ得意不得意があるから」と、幅広い外注先と関係を構築しているようだ。「うちでは、基本的にこのパーツはここをお願いしようという外注先を決めたら、同じものを他で頼むことはしないんです。それが信頼関係にもつながるのはもちろん、そのパーツの精度を一定にするという理由もあります」と大岡さん。地方でのものづくりは、顔を合わせやすい距離感だからこそ、親密な協力体制が築けるということも大きな魅力ではないかと話す。「中央に集中する時代は終わりましたからね。高松を離れる気は全くありません」。そう力強く話す大岡さん。信頼できる仲間とともに、これからは香川の地で、ものづくりをしていく。

新光電子株式会社「電子天びん・はかり関連総合カタログ」から抜粋

EZ-KH series 本質安全防爆組込み式はかり 特定計量器

ドラム缶などを直接載せられる大ひょう量タイプ
日本初2級検定付 大ひょう量計量器

特徴
 ◎本質安全防爆構造(Ex ia IIC T4)に適合した
 非圧入式センサーを採用
 ◎高精度(計量器-0.2-0.005%)を実現

仕様
 ◎最大秤量(計量器) セローのり量
 ◎最大秤量範囲 5〜500kg
 ◎検定 計100kg単位専用システム
 ◎出力 4〜20mA(2線方式)出力(Ex ia IIC T4)
 ◎最大電圧 24V(最大電圧)
 ◎はかりケーブル 約4m

電圧センサー(計量器専用)

計量器本体(計量器専用)

高精度計量器は、2019年(平成31年)商品型式「EZ-KHシリーズ」として販売開始
 高精度計量における適正計量・適正取引に対する要求要望の増加に応える形で誕生した「高精度特定計量器」



EZ-KHシリーズの内部構造

「お客様のニーズは時代によって移り変わっていくもの。小さなメーカーは時代のニーズに合わせて常に変化し続ける姿勢でなければ」と話す大岡さん

技術担当 **大岡 禎昭** 氏



宮本スケール

代表者 大岡 富美子 氏
 所在地 高松市朝日町4丁目32-10
 電話番号 087-823-6655



第78回 香川の発明くふう展 表彰式及び受賞作品展示会を開催しました

一般社団法人香川県発明協会では、児童・生徒に創作の喜びや発明くふうする楽しさを知ってもらい、ものづくりを通じて創造力を育むとともに、科学技術の振興を図ることを目的として、「第78回香川の発明くふう展」を開催しました。

令和4年10月29日に表彰式を行うとともに、受賞作品について展示しました。

表彰式 令和4年10月29日(土) 13:00～14:00

香川産業頭脳化センタービル 2階 一般研修室(高松市林町2217-15)

受賞作品展示会

①令和4年10月29日(土) 10:00～15:30

香川産業頭脳化センタービル 2階 第1会議室(高松市林町2217-15)

②令和4年10月30日(日)～11月11日(金) 9:30～17:00(最終日のみ14:00まで)

大西・アオイ記念館(高松市上林町148)

入賞作品21点および奨励賞作品4点を展示しました。

主催 香川県、(一社)香川県発明協会、(公財)大西・アオイ記念財団

【第78回(令和4年度)の主な受賞作品】

香川県知事賞

「踏切横断補助白杖 『踏切わたるくん』」

香川県立高松工芸高等学校
3年

佐藤 憲太郎 さん
藤阪 京輝 さん
森本 風 さん



香川県教育委員会教育長賞

「足ふみ式かんたん袋あげ機」

三豊市少年少女発明クラブ
小学5年

鶴岡 凜 さん



※上記2作品を含め、入賞作品21点については、第81回全日本学生児童発明くふう展に推薦

※参考【第77回(令和3年度)の主な受賞作品】

香川県知事賞

「止まっても光る自転車ライト」

三木町少年少女発明クラブ
中学1年

三宅 晴斗 さん

※第80回全日本学生児童発明くふう
展に推薦し、入選



香川県教育委員会教育長賞

「くつピカピーナ」

香川県立高松工芸高等学校
3年

永井 景太 さん
鷹巣 陽 さん
松原 武史 さん



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-867-9332 FAX.087-867-9365



facebook公式サイトを開設しました!! <https://www.facebook.com/kagawa.isf>



総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F

総務課

TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710

施設管理課

TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703

企画情報課

TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710

ファンド事業推進課

TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F

企業支援課

TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710

取引支援課・海外展開支援室

TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川1F

産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム

TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43
RISTかがわ1F

研究管理課・研究開発課

TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F

知的財産支援課

TEL(087)867-9332 FAX(087)867-9365

知的財産普及課

TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365



この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、
グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。 印刷: 香川印刷株式会社